

水道 News◆ 現場レポート15 パイプインパイプ ◆

◆ エスロハイパーを用いてパイプインパイプ工法による
配水管布設工事を実施しました

★ ①軽量, ②接合部が抜けない, ③柔軟性がある エスロハイパーは、
パイプインパイプ工法に最適です。



現場は、趣のある石畳。パイプインパイプ工法を用いることにより、開削工事を最小限に抑えます。



配管布設のために石畳をめくり、ライナープレートを設置, 立坑を構築しました。



配管布設に先立ち、既設管 (ACP $\phi 150$) の中に、ワイヤーロープを通していきます。



エスロハイパー $\phi 75$ を陸継ぎして、長尺管を作成していきます。



管の先端にケーブルグリップを取り付け、準備完了です。到達坑側から引き込んでいきます。



エスロハイパーの柔軟性を生かして曲げながら、挿入。小さな発進坑で作業可能です。



無理なく、到達坑までエスロハイパーの引き込みが完了。管表面に大きな傷也没有。



構造物をベンド管で迂回して、作業完了。エスロハイパーなら、狭い空間での切り回しも自在です。

本工事は、120m (80m と 40m の2スパンに分けて施工) の配管布設を、1日で完了。 エスロハイパーによるパイプインパイプ工法を是非、ご検討ください。